

6～7度まで操作可能。8度でも変形・拘縮の少ない者は操作可能。もっと小さく軽くした方が良い。吸盤または取り付け金具を使用し、ボックスを半固定にする必要がある。

6) 使用経験について

使用人数について記入があったのは5施設であり、トータルで起立7名・椅子16名・車椅子16名・ベッド0名であった。使用時間についてはそのうち2施設から解答を得た。延べ使用時間は184時間であった。また、毎週4時間(1名)使用しているという施設が1施設あった。

今後は台の上下可動を電動式にすること、指導者が対面して使用できることを考えている。また、その他の問題はコストアップにつながらない範囲で対応してみたいと思っている。

23 電動油圧リモートコントロール水洗トイレ付ベッドの効果的活用について

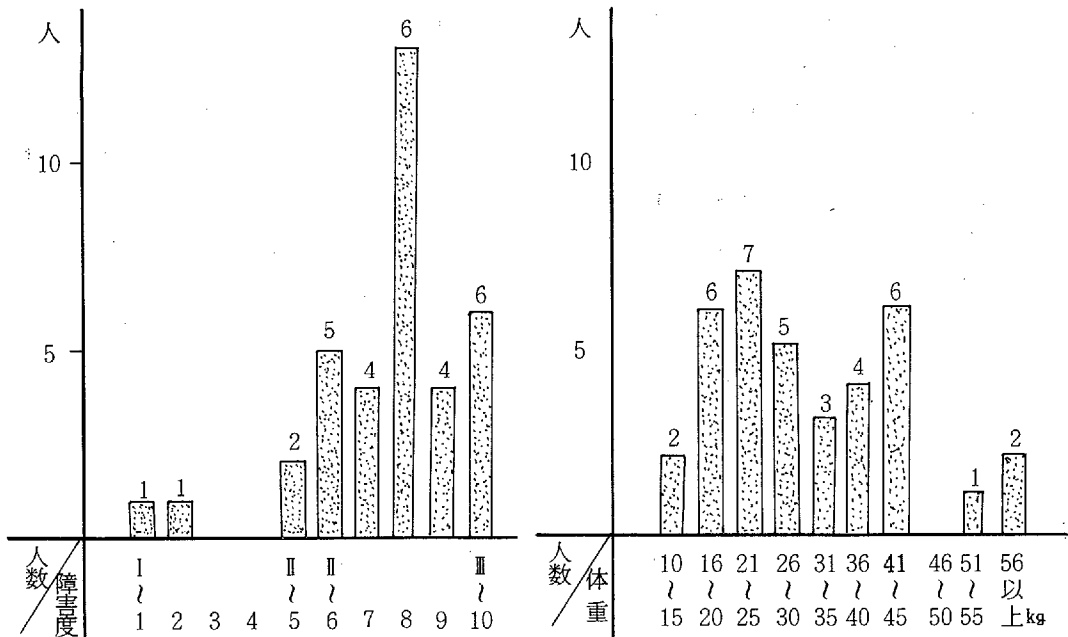
国立療養所西別府病院

秋吉雅子 百武多津子
小畑千代子

〔目 的〕

体重が重く、排便時又は、ベッド上での体位が不安定である患者に、この電動式ベッドを使用することにより患者の安楽、安全をはかり、同時に看護者の身体的負担を軽減させる。

当病棟患者概況	障害度別	体重別構成
① 患者数	36名 (男27名、女9名)	
② 疾患	PMD 31名 その他 5名	
③ 障害度	(厚生省案)	
④ 体重		



〔方 法〕

電動ベッド使用状況を

- ① 排便時の状態
- ② 患者の体位及び体位交換時の状況
- ③ その他

とし、これらについて患者及び看護者側から意見を聞き、利点、欠点とにまとめた。

〔結 果〕

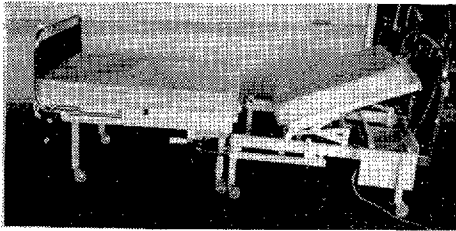
- 利点
- ① トイレまで患者を抱えることがないので楽である。
 - ② リモコン操作により頭部が上下できるため、坐位の患者にとっては、バックレスがわりになり体位の安定がよく安全である。
 - ③ リモコン操作で、患者自身が好きな角度に上体を起せ、気分転換がはかれる。
 - ④ ヘッドボードがはずせるため、洗髪に便利である。
 - ⑤ 従来のベッドより幅が狭く、動かしやすく移動に便利である。
 - ⑥ 排便時、体位がくずれの心配がない。

- 欠点
- ① 膝台がベッド横に出ている為、看護者の足をぶつけやすく、体位交換時介助しにくい。
 - ② ベッド柵が短い。

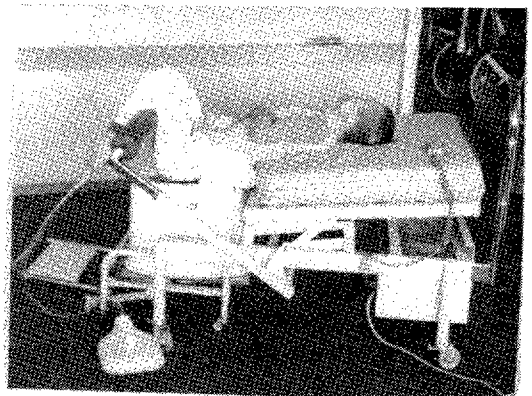
- ③ マットレスの固定は、マジックテープやひもであるが、上下の間があき不十分である。
- ④ マットレスは、保温はよいが、吸湿性に欠く。
- ⑤ マットレスは、褥創予防の機能を有している反面柔らかいため、ベッド上での動きが制限される。
- ⑥ リモートスイッチが故障しやすい。

以上の結果から、変形が著しく使用困難と思われた患者にもよい効果がえられ、このベッドの使用目的は、ほぼ達成されたと思う。

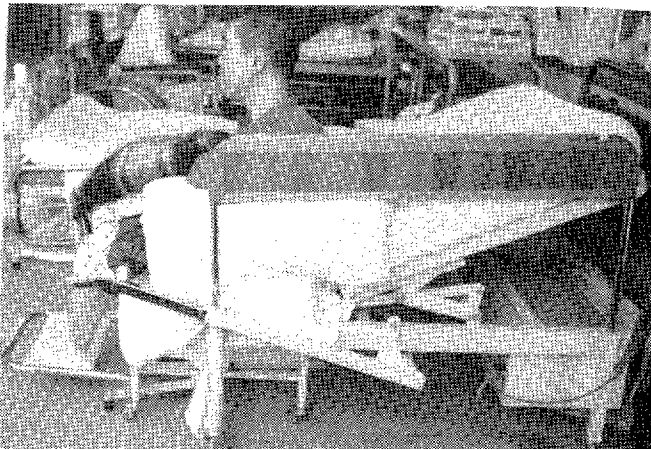
1. ベッド全形



3. 排便時の状態



2. 排便時の状態



↓ 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

〔目的〕

体重が重く、排便時又は、ベッド上での体位が不安定である患者に、この電動式ベッドを使用することにより患者の安楽、安全をはかり、同時に看護者の身体的負担を軽減させる。